

持続可能な開発のための教育について考える

ACCUは、2016年3月に文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会より発行された「ESD推進の手引」を活用し、①教育の質を高めるためのESDの役割を広く推進すること、②ESDを伝えることのできるファシリテーターをサポートすることを目的とした研修会を以下の通り実施いたします。

開催日時 2018年1月25日（木） 10:00-16:30（開場 9:30）

開催場所 福山市立福山中・高等学校 大講義室（広島県福山市赤坂町大字赤坂910）

対象者 ESDにご関心のある全ての方々を対象としております。参加費は無料です。

申込方法 下記URLより申し込みフォームの記入をお願いいたします。

申込〆切： 2018年1月23日（火）まで
(<https://ws.formzu.net/fgen/S44944127/>)



←こちらからもお申し込み可能です。

本件お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

TEL 03-3269-4559 Eメール webmaster@accu.or.jp

担当 教育協力部 篠田

主催： 文部科学省、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）
後援： ESD活動支援センター、広島県教育委員会（申請中）、福山市教育委員会（申請中）
広島大学、広島市立大学（申請中）、福山市立大学（申請中）、広島ESDコンソーシアム

ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で、「持続可能な開発のための教育」のことです。ESDは地域や世界の持続可能な未来の構築のために学び、アクションを起こしていく活動です。



タイムスケジュール

午前の部：ユネスコスクール学習会 10:00-11:30

- 前半は「ESD推進の手引」を活用しながら、ESDやユネスコスクールについて、またユネスコスクールへの加盟方法、加盟後の支援などこれまで詳しく聞くことのできなかった情報をユネスコスクール事務局職員より直接聞くことができます。また、後半では日ごろ疑問に感じていることなどを持ち寄り、語り合う場を設けます。

時間	内容
10:00	趣旨説明
10:10	ESDとユネスコスクールについてー「ESD推進の手引」を活用しながらー
10:30	ユネスコスクールの加盟方法について ユネスコスクールの加盟後の支援について
11:00	フリートークーユネスコスクールの活動について語り合うー

午後の部：持続可能な開発のために教育について考える 13:00-16:30

- 他校ではどのような活動をし、どこから着想を得ているのか知る時間となります。また、実践事例から持続可能な開発のための教育とは何かを参加されている皆様で考えていく時間をもちます。ESDの実践についてより理解を深めていきたい方に参加をお勧めいたします。

時間	内容	登壇者
13:00	開会の挨拶	未定
13:05	趣旨説明、アイスブレイク	ACCU教育協力部 篠田
13:45	【実践事例のご報告】 ・ 神奈川県立有馬高等学校の取り組み ・ 神奈川県ユネスコスクールネットワークの取り組み 【リフレクション】	神奈川県立有馬高等学校 望月浩明
14:35	【パネルディスカッション】 モデレーター：ACCU パネリスト： 神奈川県立有馬高等学校 社会科講師 望月浩明 広島大学大学院教育学研究科 研究員・ESDコーディネーター 島津礼子 福山市立福山中・高等学校 校長 向井勝也 【リフレクション】	
	閉会の挨拶	文部科学省 国際統括官付 ユネスコ第二係長 瀬戸口奏

ゲスト講師のご紹介



神奈川県立有馬高等学校 社会科講師 望月浩明

1955 11.28生
東京学芸大学大学院修士課程修了
神奈川県立有馬高等学校 社会科講師
神奈川県ユネスコスクール連絡協議会 事務局長
(社) 日本ユネスコ協会評議員
元 全国高校ユネスコ活動指導者協議会理事長

パネリストのご紹介

広島大学大学院教育学研究科 研究員・ESDコーディネーター 島津礼子

博士(教育学)。専門は、幼児教育学、比較国際教育学。共著に『子ども理解のメソッドロジー：実践者のための「質的実践研究」アイデアブック』（ナカニシヤ出版）、共訳書に『文化を映し出す身体』（福村出版）等。

福山市立福山中・高等学校 校長 向井勝也

専門教科は数学。広島県立高等学校に数学教諭として勤務後、福山高等学校教頭を経て、福山中・高等学校校長。
同校は、ACCU「ESD重点校形成事業」サステナブルスクール認定校。

交通アクセス

■ 電車でお越しの方

東海道新幹線「福山駅」より山陽本線「備後赤坂駅」下車、徒歩10分

■ 車でお越しの方（校内駐車場有）

山陽自動車道 福山西インターチェンジより約6km

